



平成25年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年9月7日

上場会社名 株式会社アスカネット 上場取引所 東
 コード番号 2438 URL <http://www.asukanet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 福田 幸雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 功野 顕也 (TEL) 082-850-1200
 四半期報告書提出予定日 平成24年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第1四半期の業績(平成24年5月1日～平成24年7月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第1四半期	1,063	0.4	151	△13.2	150	△13.1	91	△3.8
24年4月期第1四半期	1,059	△0.2	175	△3.2	173	△2.1	95	△6.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年4月期第1四半期	21.91		—					
24年4月期第1四半期	22.77		—					

当社は、平成24年5月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり四半期純利益の金額は、前事業年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年4月期第1四半期	3,562		3,032		85.1	
24年4月期	3,770		3,028		80.3	

(参考) 自己資本 25年4月期第1四半期 3,032百万円 24年4月期 3,028百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
25年4月期	—				
25年4月期(予想)		0.00	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成24年5月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。なお、株式分割は平成24年5月1日を効力発生日としておりますので、平成24年4月期の期末配当金につきましては、株式分割前の株式数を基準に配当を実施しております。

3. 平成25年4月期の業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,730	5.5	603	△18.0	600	△18.7	365	△14.4	87.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、業績管理を年次で行っているため、第2四半期累計期間の業績予想は開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年4月期1Q	4,366,000株	24年4月期	4,366,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

25年4月期1Q	179,400株	24年4月期	179,400株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年4月期1Q	4,186,600株	24年4月期1Q	4,186,600株
----------	------------	----------	------------

当社は、平成24年5月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数は、前事業年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要により緩やかな回復が見込まれるものの、欧州政府債務危機などを背景とする海外景気の下振れリスクから、先行きの情勢を見極めることが困難な状況で推移しました。

当社を取り巻く環境も、当社が提案してまいりました個人が1冊から作成する写真集は、「フォトブック」として浸透が進んでおりますものの、景気の先行き不透明感は、消費マインドを抑制しており、業務向けの写真市場や葬祭市場だけでなく、一般消費者市場におきましても、厳しい環境が継続しております。

このような状況の中、当社は景気動向に左右されにくい葬祭市場に対し、遺影写真等の画像映像のデジタル加工、通信出力サービスを主に提供する安定型ストックビジネスであるメモリアルデザインサービス事業、写真市場という大きな市場に対し、1冊から本格的な写真集という新しい写真のアウトプット手法を提案するチャレンジングなビジネスであるパーソナルパブリッシングサービス事業、空中結像という今までにないユニークな技術で、新しい市場を創造し、夢の実現を目指すエアリアルイメージング事業、それぞれ位置づけや特色が異なる三つの事業を展開してまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,063,781千円(前年同四半期比100.4%)となり、費用面におきましては、パーソナルパブリッシングサービス事業における生産設備の更新・増強に伴い減価償却費が増加したことなどにより、経常利益は150,982千円(前年同四半期比86.9%)、四半期純利益は91,733千円(前年同四半期比96.2%)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(メモリアルデザインサービス事業)

メモリアルデザインサービス事業におきましては、ハード機器、および額やペーパーなどのサプライ品の売上が好調だった一方、全般的な葬儀施行件数の減少の影響を受け、高付加価値の遺影写真加工サービス収入が前年同期を若干下回り苦戦しました。

その結果、売上高は483,666千円(前年同四半期比100.9%)、セグメント利益は145,520千円(前年同四半期比90.9%)となりました。

(パーソナルパブリッシングサービス事業)

パーソナルパブリッシングサービス事業におきましては、国内業務向け写真集が堅調であった一方、海外向け写真集は円高および競争の激化により苦戦しました。また、新製品のリリースに向け、ソフトウェアの開発や生産体制の構築に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は578,854千円(前年同四半期比99.7%)、セグメント利益は113,459千円(前年同四半期比95.4%)となりました。

(エアリアルイメージング事業)

エアリアルイメージング事業におきましては、展示会への出展やデモンストレーションの実施などのマーケティング活動を行うとともに、量産体制に向けての準備や技術開発に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は1,260千円(前年同四半期は実績なし)、セグメント損失は19,086千円(前年同四半期は17,481千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ207,752千円減少し、3,562,816千円となりました。これは主に、現金及び預金が153,216千円、有形固定資産が27,417千円減少したことによるものであります。当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ211,488千円減少し、530,735千円となりました。これは主に、未払法人税等が72,400千円、賞与引当金が52,900千円減少したことによるものであります。当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ3,736千円増加し、3,032,080千円となりました。これは主に、剰余金の配当として83,732千円計上した一方で、四半期純利益を91,733千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年6月8日に発表いたしました平成25年4月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,434,842	1,281,625
受取手形及び売掛金	503,899	481,655
商品及び製品	82,137	88,537
原材料	40,456	43,356
仕掛品	13,579	18,286
その他	86,151	83,354
貸倒引当金	△6,432	△5,847
流動資産合計	2,154,634	1,990,968
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	475,718	472,010
土地	370,758	370,758
その他(純額)	334,618	310,909
有形固定資産合計	1,181,095	1,153,678
無形固定資産	242,937	241,236
投資その他の資産	191,900	176,932
固定資産合計	1,615,933	1,571,847
資産合計	3,770,568	3,562,816
負債の部		
流動負債		
買掛金	86,804	91,162
未払法人税等	133,200	60,800
賞与引当金	108,600	55,700
その他	389,236	302,681
流動負債合計	717,840	510,343
固定負債		
長期借入金	8,723	—
退職給付引当金	9,385	9,211
その他	6,274	11,179
固定負債合計	24,383	20,391
負債合計	742,223	530,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,300	490,300
資本剰余金	606,585	606,585
利益剰余金	2,057,046	2,065,048
自己株式	△122,549	△122,549
株主資本合計	3,031,381	3,039,383
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,037	△7,302
評価・換算差額等合計	△3,037	△7,302
純資産合計	3,028,344	3,032,080
負債純資産合計	3,770,568	3,562,816

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)
売上高	1,059,900	1,063,781
売上原価	490,705	514,501
売上総利益	569,195	549,279
販売費及び一般管理費	394,178	397,296
営業利益	175,017	151,982
営業外収益		
受取利息	70	586
受取配当金	250	284
受取手数料	164	159
その他	16	36
営業外収益合計	501	1,067
営業外費用		
支払利息	551	281
為替差損	1,269	1,783
その他	12	2
営業外費用合計	1,833	2,067
経常利益	173,685	150,982
特別損失		
固定資産売却損	499	—
固定資産除却損	9,965	1,117
特別損失合計	10,464	1,117
税引前四半期純利益	163,220	149,865
法人税等	67,871	58,131
四半期純利益	95,349	91,733

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシン グサービス事 業	エアリアルイ メージング事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	479,277	580,623	—	1,059,900	—	1,059,900
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	479,277	580,623	—	1,059,900	—	1,059,900
セグメント利益又は損失 (△)	160,152	118,874	△17,481	261,544	△86,526	175,017

(注) 1 セグメント利益の調整額△86,526千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに
帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

3 エアリアルイメージング事業は、平成23年3月から開始した事業であります。

当第1四半期累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成24年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシン グサービス事 業	エアリアルイ メージング事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	483,666	578,854	1,260	1,063,781	—	1,063,781
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	483,666	578,854	1,260	1,063,781	—	1,063,781
セグメント利益又は損失 (△)	145,520	113,459	△19,086	239,893	△87,910	151,982

(注) 1 セグメント利益の調整額△87,910千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに
帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。